

“高齢者利用の高い”商店街における歩行者交通量の特徴分析

— 巢鴨地藏通り商店街を対象として —

The Traffic Volume Analysis on “Old Persons at a Shopping Street”

— A Case Study of Sugamo Jizo-Dori (Street) —

伊藤知真里**・伊東孝***

By Chimari ITO**・Takashi ITOH***

1. はじめに

近年、社会の変化に伴い商店街は衰退の一途を辿っている。そのような中、とげぬき地蔵で有名な高岩寺の巢鴨地蔵通り商店街は、平日でもお年寄りの参拝客が絶えず「おばあちゃんの原宿」と呼ばれるほど、お年寄りの来街者で賑わいをみせている。しかし区役所や商店街振興組合では商店街（区道）の交通量調査を実施しておらず、“高齢者が多い”という裏づけはとられていない。また、商店街の交通量調査に関する研究論文もない。

そこで本研究では、「おばあちゃんの原宿」の交通実態を把握するため交通量調査を実施し、来街者の年齢層別の流れや動きを調べるとともに、商店街の店舗構成との関係も分析することを目的とする。これにより、今後の高齢化社会に対応した商店街まちづくりの参考に供したい。

2. 調査概要

調査は、商店街の建物と店舗種別調査および商店街の歩行者交通量調査の2種類とした。

① 商店街の建物棟数・階数及び（年齢層別）店舗種別調査（JR側入口～都電側入口約800m）

年齢層別の店舗種別は、店舗のインテリア、品物、配置などから、「年寄り向け」「一般向け」「若者向け」を判断した。この調査から、商店街の特徴を把握し、高齢者の行動と商店街の店舗構成がどのように関係しているのかなどを分析する。

② 商店街における歩行者交通量調査

（JR側入口～モリタ電機付近約280m）

「高齢者が多い」という現象を把握するため、本研究ではピーク時間帯で代表させることにした。平日と休

*キーワード：都市計画、観光・余暇、高齢者

**学生員、工修、日本大学理工学研究科社会交通工学専攻

***正員、工博、日本大学理工学部社会交通工学科

（千葉県船橋市習志野台7-24-1、

TEL:047-469-5572、E-mail:itoh@trpt.cst.nihon-u.ac.jp）

日に連続12時間のプレ交通量調査を実施し（平成20年12月3日（水）、同年12月6日（土））、ピーク時前後1時間の時間帯を調べる。

次に、平日と休日のピーク時の本交通量調査を行った（平成20年12月7日（日）、同年12月18日（木））。

3. 商店街の店舗種別と年齢層別店舗区分

JR側入口から都電側入口の方を向いたとき、右側を地蔵通り「北側」、左側を「南側」とする（図-1参照）。

来街者の訪れる店舗数をみると、総店舗数は225軒で、北側は101軒（45%）、南側は124軒（55%）で、南側の方が店舗数は1割多くなっている。

店舗種別の北側と南側の相違をみると、軒数の多少の多寡のちがいはあるが、順序は変わらない。そこで全体の店舗種別を多い順にあげると、以下のようになる。食品店57軒（25%）、衣料品44軒（20%）、飲食店24軒（11%）、雑貨店23軒（10%）、薬局13軒（6%）、医院10軒（4%）、その他54軒（24%）である。

全体として、食に関する店舗（食品店と飲食店）の割合が36%と高く、続いて衣料品店・雑貨店となる。

以上の店舗を、年齢層別に区分したのが、図-2である。全体として、お年寄り向けの店舗が全体の72%（162軒）を占め、店舗種別の順位は全体と変わらず、割合も大きな変化はない。しかし一般向けの店舗になると26%（59軒）で、食品店・雑貨店・衣料品・飲食店の順になり、雑貨店が2位になっている。しかし数は少ない（8軒）。若者向けは、まったく少なくなり、食品店は1軒もなく、衣料品・飲食店・雑貨店・その他が1軒ずつあるのみである（2%）。

以上から、商店街には年寄り向けの店舗が一番多く、しかも店舗種類は食に関する店舗である食品店と飲食店が多いことがわかる。



地点	地点名
①	JR側入口
②	高岩寺ベンチ付近
③	モリタ電機付近

図-1 調査対象地域とデータ分類方法図

しかしながら、薬局や医院の軒数は年寄り・一般向けとはほぼ同じ値（年寄り向け：7軒と5軒、一般向け：6軒と5軒）となっている。割合は、一般向けの方が高くなる。

4. 商店街における歩行者交通量調査

(1) 歩行者交通量調査の結果

平日と休日の歩行者のピーク時間帯を調べるため、JR側入口で12時間連続調査をおこない、朝・昼・夕のピーク時間を確認した。

プレ調査を元に本調査では、商店街来街者の年齢層と行動および場所がどのような関係にあるのかを把握するため、商店街の3点（JR側入口、高岩寺ベンチ付近、モリタ電機付近、図-1）で、ビデオによるピーク時定点調査をおこなった。

ビデオ分析に際し、年齢層は、容姿や歩き方・歩速さ等から判断した。

また左右の方向は、以下のように区別した。

JR線方向：都電側入口→JR側入口

荒川線方向：JR側入口→都電側入口

a) プレ調査結果

図-3a・3b、表-1は、平日と休日に行ったプレ調査の結果である。

平日と休日を両方向で比較すると、1日におけるピークの数や時間帯に相違のあることが分かる。平日は4回のピークがあり、まず朝の通勤・通学のピーク、昼ごろには午前と午後の2回のピーク、そして夕は帰宅のピーク時間帯である。

これに対し、休日はピークの時間が午前・昼・午後にあらわれることがわかる。

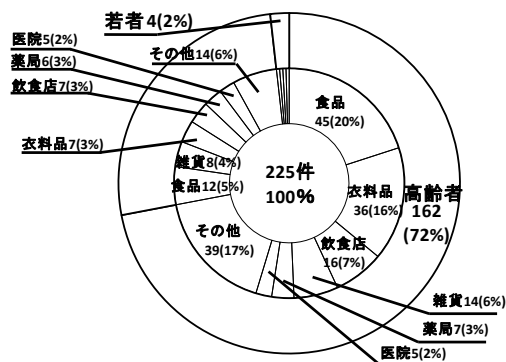


図-2 年齢層別店舗区分

また方向別に検討すると、平日はJR線方向と荒川線方向とでは昼間のピークがみごとに反転していることがわかる。これは次のように解釈した。午前中のピークは荒川線方向なので商店街への来街者、午後は帰りのピークと考えられる。

これに対し、休日では両方向では3つのピークだったが、方向別になるとそれぞれ2つのピークに分かれる。まず午前中に商店街来街者（荒川線方向）のピークがあり、少し遅れて帰る人（JR線方向）のピークとなる。同様に昼過ぎにもピークが現われ、夕方に帰る人のピークが現われる。したがって休日の来街者の滞在時間は、総体的には平日と比べると短いことが考えられる。このことが午前と昼過ぎの2つのピーク現象になったと推測される。

また平日よりも休日の方が約1.3倍来街者の多いことや、休日は朝の通勤ラッシュがない分、出足が遅いことがわかる（図-3a、3b）。

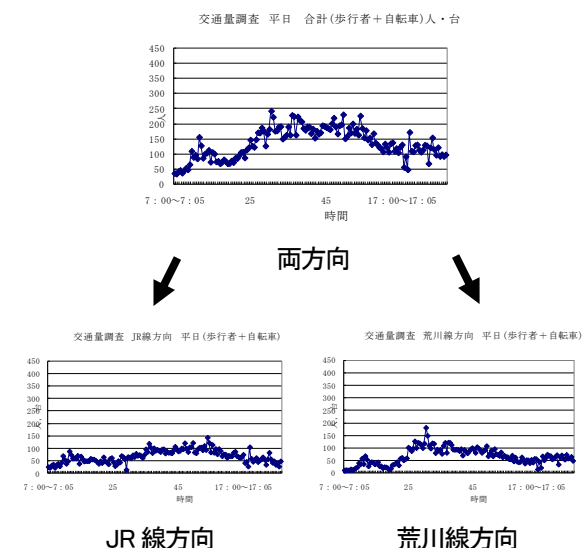


図-3a 平日のプレ交通量調査結果(JR側入口)

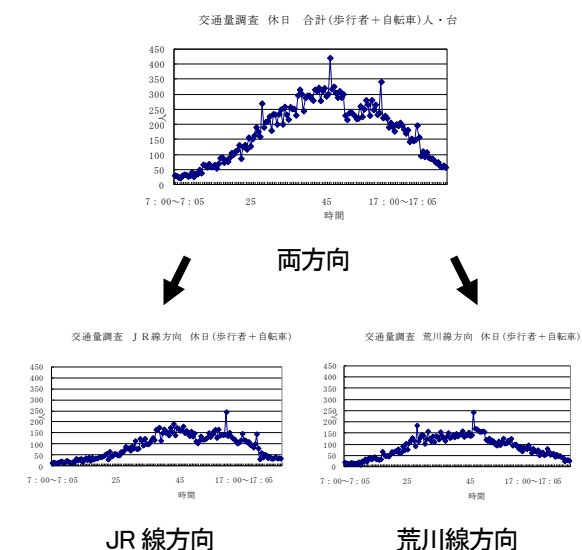


図-3b 休日のプレ交通量調査結果(JR側入口)

b) 本調査結果

図-4と5は、平日と休日のピーク時における歩行者の場所別交通量と時間帯別にみた場所別交通量を示している。図-4 aは、平日において、場所別男女別に全交通量を示し、図-4 bは、ピーク時別に全交通量とその内の高齢者数を示している。休日の図-5も同様である。

平日の図-4 bは、朝の通勤・通学や夕方の帰宅のほとんどが一般層であったが、昼になると半数が高齢者で占められるといえる。また図-4 aでは、全交通量の男女比より内高齢者の方が、少し男女差がひらいていることがわかる。

次に休日の図-5 bをみる。休日は、平日の図-4 bと比べ、昼よりも朝の方が内高齢者数の割合が半数にまで達している。また図-5 aは、図-4 aの平日の各交通量における男女比と同じ傾向にあるといえる。

表-2、3は、平日と休日のピーク時別に合計数と合計数内の歩行者と自転車数(割合)を表している。

(1)が全年齢層の数(歩行者・自転車別)で、(2)が全年齢層内の60歳以上の高齢者数(歩行者のみ)を表している。(1)(2)は、表-2から表-3まで全て共通である。

全体の特徴として、以下のことがわかる。

- ① 男性よりも女性の来街者の方が多い。男性：女性＝38%：62% (平均)
- ② 平日は「JR側入口→高岩寺ベンチ付近→モリタ電機付近」へ行くにつれ、交通量が減少していく。これに対し休日は平日と違い、高岩寺ベンチ付近の交通量が多く、平日と休日とでは人の来街する目的の違いがあるといえる。
- ③ 平日・休日ともに朝の出足は遅く、昼に来街者が多い。休日の方が平日よりも来街者の人数は2.5～3倍である。昼のピーク時間帯の人数は、平日・休日ともほぼ同じ値である。
- ④ 自転車の交通量は3地点とも同じ台数なので、JR側入口→モリタ電機付近の区間では路地に入る自転車はなかった。

次に高齢者のみの特徴をみる。

- ① 高齢者も全体の特徴と同様、男性よりも女性来街者の方が多い。男性：女性＝35%：65% (平均)
- ② 平日の朝の男女比と比べ、休日の朝の男女比の方が、平均30%という大きな差が見られる。

(2)考察

- ① 休日の方がやや高齢者の割合が低い
→休日を利用して商店街に来る観光客が多いため、休日は観光客が多い。反対に、高齢者は観光客の増える休日を避け、あまり混んでいない平日に訪れている。
- ② 高齢者の割合
→全体の高齢者平均割合は約35% (3人に1人)

平日昼①・昼②の高齢者割合は約48%

休日の朝の高齢者割合は約44%

以上から、巣鴨地蔵通り商店街来街者の“2人に1人は高齢者”であることがわかった。

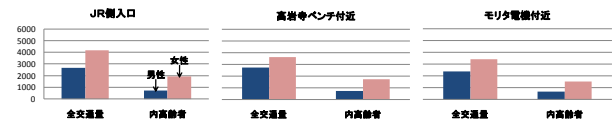


図-4 a 平日の場所別交通量(高齢者・男女比)

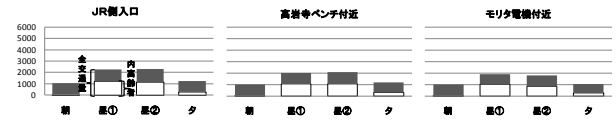


図-4 b 平日の場所別時間帯別交通量(高齢者・男女比)

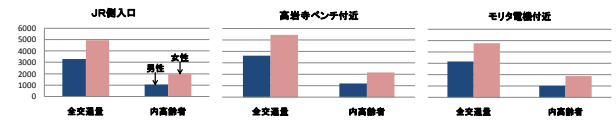


図-5 a 休日の場所別交通量(高齢者・男女比)

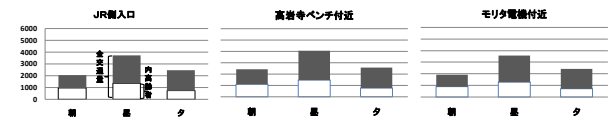


図-5 b 休日の場所別時間帯別交通量(高齢者・男女比)

表-1 ピーク時間帯

	平日ピーク時間	休日ピーク時間
朝	08:05~08:10	10:50~10:55
昼	①11:15~11:20 ②14:25~14:30	13:50~13:55
夕	17:20~17:25	16:05~16:10

表-2 a 平日の本交通量調査(JR側入口)

(1)全交通量の男女比				(2)高齢者の男女比			
	計	歩行者	自転車		計	男性	女性
朝	1212	1055(男性58%,女性42%)	157	朝	23	14(61%)	9(39%)
昼①	2,435	2290(男性29%,女性71%)	145	昼①	1232	258(23%)	947(77%)
昼②	2,463	2312(男性31%,女性69%)	151	昼②	1156	345(30%)	811(70%)
夕	1,461	1242(男性37%,女性63%)	219	夕	297	105(35%)	192(65%)
総計	7,571	6899(男性39%,女性61%)	672	総計	2708	722(37%)	1959(65%)

表-2 b 平日の本交通量調査(高岩寺ベンチ付近)

(1)全交通量の男女比				(2)高齢者の男女比			
	計	歩行者	自転車		計	男性	女性
朝	1199	1043(男性57%,女性43%)	157	朝	44	21(48%)	23(52%)
昼①	2,149	2024(男性32%,女性68%)	145	昼①	1061	278(26%)	783(74%)
昼②	2,265	2114(男性36%,女性64%)	151	昼②	1081	328(30%)	753(70%)
夕	1,438	1199(男性45%,女性55%)	219	夕	321	135(42%)	186(58%)
総計	7,051	6380(男性43%,女性57%)	672	総計	2507	762(36%)	1745(64%)

表-2c 平日の本交通量調査(モリタ電機付近)

(1)全交通量の男女比			(2)高齢者の男女比		
計	歩行者	自転車	計	男性	女性
朝	1177	1020(男性49%,女性51%)	157	朝 43	20(47%) 23(53%)
昼①	2,073	1928(男性31%,女性69%)	145	昼① 1021	258(25%) 763(75%)
昼②	1,961	1810(男性37%,女性63%)	151	昼② 869	279(32%) 590(68%)
夕	1,318	1054(男性46%,女性54%)	219	夕 287	122(43%) 165(57%)
総計	6,529	5812(男性41%,女性59%)	672	総計 2220	679(37%) 1541(63%)

表-3a 休日の本交通量調査(JR側入口)

(1)全交通量の男女比			(2)高齢者の男女比		
計	歩行者	自転車	計	男性	女性
朝	2199	2076(男性34%,女性66%)	123	朝 959	231(24%) 728(76%)
昼	3933	3742(男性47%,女性53%)	191	昼 1361	593(44%) 768(56%)
夕	2645	2479(男性38%,女性62%)	166	夕 750	242(32%) 508(68%)
総計	8777	8297(男性40%,女性60%)	480	総計 3070	1066(35%) 2004(65%)

表-3b 休日の本交通量調査(高岩寺ベンチ付近)

(1)全交通量の男女比			(2)高齢者の男女比		
計	歩行者	自転車	計	男性	女性
朝	2,578	2455(男性34%,女性66%)	123	朝 1112	286(26%) 826(74%)
昼	4,272	4081(男性47%,女性53%)	191	昼 1486	656(44%) 830(56%)
夕	2,767	2601(男性39%,女性61%)	166	夕 775	263(34%) 512(66%)
総計	9,617	9137(男性40%,女性60%)	480	総計 3373	1205(35%) 2168(65%)

表-3c 休日の本交通量調査(モリタ電機付近)

(1)全交通量の男女比			(2)高齢者の男女比		
計	歩行者	自転車	計	男性	女性
朝	2,053	1929(男性34%,女性66%)	123	朝 898	219(24%) 679(76%)
昼	3,788	3597(男性46%,女性54%)	191	昼 1294	551(43%) 743(57%)
夕	2,625	2459(男性39%,女性61%)	166	夕 726	248(34%) 478(66%)
総計	8,466	7985(男性40%,女性60%)	480	総計 2918	1018(34%) 1900(66%)

5. 他の商店街との比較調査

巢鴨地蔵通り商店街では“2人に1人は高齢者”という結果が得られた。しかしながら、この結果だけでは「おばあちゃんの原宿」といわれるほど、高齢者の来街の多い商店街ということにはならない。

そこで追加調査として、地域性が類似している他の商店街との比較調査をおこなった。比較対象地を、①駅が徒歩5分以内、②直線道路の商店街、③近くに住宅街と学校がある商店街、④高齢者向けの店舗がある商店街とし、この条件が当てはまる対象地として、千葉県船橋市にある習志野台商店街を選んだ。

調査日時は、巢鴨地蔵通り商店街の調査で得たピーク時間(表-1)において、最も高齢者の比率の高い時間を選定し、平日の同じ時間帯で調査を行った(平成21年7月13日)。

表-4 習志野台商店街の交通量調査

計	歩行者	自転車	計	男性	女性
昼①	989	942(男性34%,女性66%)	57	昼① 284	85(29%) 199(71%)

習志野台商店街の調査から以下のことがわかった(表-4)。

- ① 商店街を訪れるのは男性よりも女性が多い。
- ② 習志野台商店街は989人中284人、一般：高齢者=70：30と3人に1人が高齢来街者である。

この結果を、巢鴨地蔵通り商店街と比較すると、商店街に来街する男女比の割合は両商店街共に、類似した結果となった。しかしながら、習志野台商店街は989人中284人、一般：高齢者=71：29(%)と“3人に1人”が高齢来街者であるのに対し、巢鴨地蔵通り商店街は2290人中1232人、一般：高齢者=46：54(%)と“2人に1人”が高齢来街者である。しかも絶対数でみると、巢鴨地蔵通りは、習志野台の4倍の交通量であった。巢鴨地蔵通り商店街は、高齢者の来街が多い商店街であると言える。

6. まとめ

今回の調査において、以下の5つのことが言える。

- ① 商店街にはお年寄り向けの店舗が一番多く、しかも店舗種類は食に関する店舗である食品店と飲食店が多い。
- ② 平日と休日を両方向で比較すると、1日におけるピークの数が違うこと、および現れる時間帯に相違がある(表-5)。
- ③ 休日の来街者の滞在時間は、総体的には平日と比べると短い。
- ④ 平日よりも休日の方が、約1.3倍来街者が多い。
- ⑤ 巢鴨地蔵通り商店街来街者の“2人に1人は高齢者”である。

表-5 結果の整理

	平日	休日	
① 全交通量：内高齢者の平均割合(%)	・朝 97：3 ・昼① 48：52 ・昼② 51：49 ・夕 79：21 ・総平均 69：31	・朝 54：46 ・昼 64：36 ・夕 71：29 ・総平均 63：37	・総平均には変化がない ・平日昼①②と休日の朝は高齢来街者が多い
② 全交通量と内高齢者の平均男女比(%)	全交通量(6364人) 男：女=41：59 内高齢者(2478人) 男：女=37：63	全交通量(8473人) 男：女=40：60 内高齢者(3120人) 男：女=35：65	・休日は、来街者が増えているが、平日と男女比は変わらない
③ 場所別全総計(人と自転車)	JR線側商店街入り口～モリタ電機付近まで段々人の数が減少	とげぬき地蔵のある高岩寺ベンチ付近が一番人が多い	平日と休日では流れに違いが見られる

今後、年齢層別店舗区分(図-2)等、得られたデータに基づき、高齢者がどのような行動をとっているのか追尾調査を行い、今後の高齢者を対象とした商店街まちづくりを考えていきたい。

<謝辞>調査に際し、巢鴨地蔵通り商店街振興組合、巢鴨地蔵通り商店街の皆様のご協力を得ました。紙面を借りてお礼を申し上げます。

<参考文献>

- 1) 商店街来街者の座りスペース利用に関する研究；巢鴨地蔵通り商店街の場合：大島秀明・天野克也・谷口汎邦、日本建築学会計画系論文集、2006

